

令和3年度 第5回区長会議 意見交換会のまとめ

- ・日時：令和3年12月25日（土）10：30～11：50
- ・場所：多治見市産業文化センター 5階 大ホール及びロビー

テーマ：福祉委員、体育委員、青少年まちづくり委員等の各種委員の活動内容の整理について

【Aグループ】（参加区：7・9・19・24・28・34・35）

1 まとまった意見

① 区長会として

- ・2年任期にこだわらず、副→長という形で、連続で役員を担う形でルール化をするなどして、複数年役員にならざるを得ない仕組みをつくってはどうか。
- ・OB等、応援スタッフ又は継続委員を募集する制度を構築してはどうか。

2 各区の取組み状況

<A区>

- ・役員任期は1年、規約で決まっており、変更はなかなか難しい。
- ・1年交替にはメリットとデメリットがある。
メリット) 新鮮な目で取り組めるので、新しい考えが出やすい。
デメリット) 以前のことがわからないので効率が悪い。
以上を踏まえて、新鮮な考えを取り込みより楽しく活性化するために、1年交替のメリットを活かし、デメリットの部分は、応援部隊（ボランティア参加）を招集し、フォローする体制を構築している。
- ・青少年委員や体育委員は、それぞれ2名ずつだったのを半分にした。役員規模、力量に応じて事業を見直すこととしている。（例えば、女性が多ければ機材等を使わずに済むことを考える）

<B区>

- ・役員選出をルール化し、必ずどのような形でも良いので2年従事するようにしている。（副委員長→委員長とか）

<C区>

- ・区長選出は複数の町内会長で構成された選考委員会で選出され、その後、町内会長会総会で選挙により決定している。概ね任期は2～3年。次が選出されないと、長期任期となってしまう面はある。

- ・福祉委員は町内会長が兼務している。

<D区>

- ・所属世帯住民の9割が仕事を抱えているので、輪番制で役員選出をしており、1年任期をルールとしている。
- ・役員の仕事は普段から参加していれば誰でもやれる、わかる仕事であるため、普段から協力し合う関係を構築している。また、多少はOB区長がフォローする体制となっている。
- ・老人会は福祉委員が主催しているが、その他の見守り活動等の業務も増大しており、兼務は難しいと考えている。
- ・体育委員、青少年委員は、班長レベルが兼任することで負担軽減を図っている。
- ・各種行事へ役員は必ず全員参加としており、動けるスタッフを確保し、負担軽減を図っている。

<E区>

- ・輪番制で選出しているが、高齢化がすすみ、輪番制が機能しなくなってきており、そろそろ見直しが必要な時期に来ているのではないかとの声も上がっている。
- ・ここ数年行事が中止となり、引継ぎができない状況が続いている。

<F区>

- ・青少年委員、福祉委員は2年任期となっている。
- ・町内会長は、必ず副町内会長を経験した人の中から選出
- ・副区長は町内会長経験者の中から選出
- ・区長は副区長経験者の中から選出
→以上から、最低4年は自治会に関わることになる。
- ・区長退任後は、相談役として1年残り、現役区長のフォローをする体制をつくっている。
- ・青少年委員は、各校区の青少年まちづくり市民会議によって異なるかもしれないが、推進委員（80名ぐらい）が中心になっており、自治会から選出する青少年委員はあまり仕事がない。
- ・青少年まちづくり市民会議、公民館、交流センターが行っている事業が似通っているので、一度整理すると、もう少しすっきりするし負担軽減も図られると思う。

3 意見交換

(1) どのような形にすると役員を複数年引き受けてもらえるか。

- ・システムとして複数年自治会活動に関わらなければならない仕組みをつくっては

どうか。

- ・役員だけでは負担が大きいため、応援部隊（OBや手伝いたい人）を募ってはどうか。

<事例>

- ・A区では、夏祭りを青少年委員が中心になって行っているが、その際応援部隊が下記のとおりいる。
→ふれあいセンターの有志（10名程度）、副区長経験者（数名）、自治会ボランティア（登録制・13名）。自治会ボランティアは役員ではないので、会議等には出席しないが、経験者であるので、ある程度の説明をすれば後は裁量で動いてくれる。
- ・副委員長、副区長が次は委員長、区長になるという仕組みをつくれば、1年任期でも役員は複数年経験することになる。
- ・応援スタッフを募集する仕組み（これまでの経緯や活動を知っている人が応援してくれる仕組み）をつくると、気軽に役員になることができる。

（2）その他

- ・コロナ禍で各種行事が2年間中止となり、十分な引き継ぎができない。人間関係がますます薄くなるので、コロナ禍でもできることを工夫してやることも必要なのではないか。例えば、歩け歩け大会を時間をずらしてやれば、密は避けられると思う。

テーマ：200世帯未満の近隣区が共同で活動することについて

【Bグループ】（参加区：2・3・4・27・41・42・サポート委員3名）

1 各区で取り組めること

- ・共同でできることは何かあるか、各区でピックアップしてみないと分からない。
- ・高齢者が多く世帯数も少ない区が、他の区と共同で事業を行うのは難しい。
- ・私の区も状況が似ている。区としては5～6年先はまだ大丈夫だが、10年後はどうなるか分からない。まずは、行事を他の区と一緒に実施することはできるので、少しずつ話し合いながらできたら良いと思う。
- ・私の区は初めから200世帯未満である。前回の意見交換会でも感じたが、今回意見交換会を通していったい何をしていくのか。
- ・この2年間コロナ禍の状況下において事業は何もできていない。役員のなり手がいないことは、どの区でも抱えている問題である。これまでの区運営について理解を深めることや、現状についての課題を明確にすることを通して、今後の組織や事業（行事）の見直しに生かしていくために、区長や区役員のOBに集まっていただく会（OB会）の継続が必要である。

2 区長会として取り組んでいくと良いと思うこと

- ・これまでも意見交換会で話し合っても今まで議論が進んでいない。だから毎回同じ話をしている。
- ・連合制のモデルパターンを考えることができれば、その資料を提示してもらいたい。
- ・8区ある笠原小学校区の区長が集まり、市議会議員も含めて最低年2回意見交換会を行っている。区の独自色を明確にしながらも協力体制を確立していくために、校区内の各区の現状を共通理解し、行動の連携が図れるような連合制のあり方を検討し推進していくよう話し合っていく。目指している連合制の1モデルとなるかもしれない。

3 市へ提案したら良いと思うこと

- ・学校区の認識をもう少し強くするような方策を考えていただけると良い。
- ・自治会が立ち行かなくなっていく状況に対して、何とか手助けしてほしい。
- ・区長そのものの負担軽減を考えてほしい。区長会議への出席も校区代表が参加すれば良い体制づくり、組織づくりが急務である。モデル校区の指定があっても良いの

ではないか。同時に区長会のあり方も検討を進めていく。

- 学校区でまとめていった方が良い。区長会議も意見を集約しながら少人数で話し合っていていった方が良いと思う。

4 その他

◎区長の任期について

- 区の規模、組織の中身によって本当に違いがあると思う。もちろん2年以上の複数年区長をやった方が良いとは思いますが、1年区長を決めるのにも苦労している状況では区の事情等もあり難しいのではないかと。
- 2年任期は良いと思う。私の区は、副区長を務めた後に区長という流れであり、現在でも地域では実質2年関わっていることになる。
- 私の区も副区長→区長→総務委員を務めるという流れであるので、実質3年間区役員になる。
- 地域の実情を知るためには、区長を2年以上やっていってもらえると良い。市からモデルパターンを示してもらえれば、その中で自分たちの区でできることを考えていくことが大切である。
- 区役員会等で提案したとしても、全員が賛成するとは限らない。区長を複数年務めていただくことにより、地域、校区がまとまっていくことが進んでいくと思う。笠原小学校区をモデルケースとして進めていただき、それを踏まえて市へお願いすること等もまとめていくと良いと思う。

テーマ：200世帯未満の近隣区が共同で活動することについて

【Cグループ】（参加区：8・14・15・16・46・47・サポート委員2名）

- ・私の区は、世帯数が少なく、役員の選出に大変困っている。手を挙げる人がなく、私が10年ほど区長を続けている。行事や事業ができず、道路の要望や防犯灯の管理くらいしかできていない。早急に合併の検討をしたい。小学校区での合併や連合というのはいい案だと思う。
- ・私の区は、今年200世帯を切った。今後増加もなさそうである。行事もできない。そこで、12月5日に区の一斉清掃を行い、参加賞などの景品を出した。120名ほどの参加があり、子どもが思ったよりいるということが分かった。子ども向けの行事は頭になかったが、来年も私が区長なので、来年の行事に生かしたいと思っている。
- ・区の統合や連合にはリード役が必要だと思う。連合制のモデルケースをつくって取り組めば、一歩進めるのではないかな。
- ・私の区も、200世帯以下で、これまでの事業の継続をしているだけである。区内に、商店の世帯とそうでない世帯があり、行事や事業をするのもなかなか難しい。連合については、サポート委員や市が叩き台を出してもらえるとありがたい。このままでは、先細りで、自然消滅するのではないかなと思う。
- ・来年の役員選考に悩んでいる。毎年苦勞をしており、大変難しい。今ある4町内会を減らして1つの町内会の人数を増やすことも考えている。区の合併は難しいと思う。
- ・近くの区とくっつくことを考えてはどうか。笠原には8つの区があるが、その中での合併を考えてはどうか。
- ・その話は、かなり前から出ているが、それができれば苦勞はない。それができないのは何か問題があるからである。世帯の少ない班同士の合併・統合も拒否される。市やサポート委員がイニシアチブをとってくれればいいが、とっかかりがない。
- ・当事者同士では難しい。区のお金の問題もある。お金を持っている区もあれば、持っていない区もある。区費の問題もある。
- ・私の区では、区費が10何ランクある。その時々役員が決めており、規定もない。合併によって、区費が下がる人はいいが、上がる人は納得できないと思う。
- ・区費の最低額を決め、あとは、寄付で賄うという工夫もできるかもしれない。
- ・私の区は、昔からの人が多く、出入りが少ない。区費については昔からの申し送り、不平不満は出ていない。行事にも出てくれる。しかし、今後、小学生が減るとどうなるかと思っている。子ども対象の行事を何とか笠原でできないかという意見も出ている。いずれはそうすることも必要かと思っている。
- ・笠原小学校の児童数も減少してきている。

- ・私の区でも高齢化が進み、役員の担い手がない。そのため、同じ方が続けて役員をやっており、若い人の協力も少ない。
少子化のため区民運動会もなくなり、夏祭りには、他の区からの参加もあったが、この5年ほどは実施していないという状況である。このように事業を縮小しており、継続も困難になってきている。
区がやせ細っていき、校区単位での連合も考える必要がありそうである。町内や区の合併ができていない状況なので、平成の大合併の時のように、区・町内会の合併に市から助成金を出すことを考えてもよいのではないか。
- ・区や町内会の合併は、一挙に、画一的にはできない。行事だけでもできるところから、一か所だけでもモデル地区として進めてはどうだろうか。自治会は独立した組織ではあるが、ほっておいてはなかなか進んでいかない。介入ではなく、お助けするという形で、区長会幹事会のOBであるサポート委員として関わればと思う。市のサポートもいただいて、何ができるか再提案し、地域や区にあった合併や連合の方向性を探っていきたいと思う。
- ・市の人口も減っていく。ながせ商店街もシャッターを下ろす店が増えてきた。これからも増えていくだろう。まちづくり株式会社や観光協会は、合併することになり、今後どうなっていくのかわからない。
- ・商店街の状況は全国的なものである。ネックは後継ぎ問題で、店を閉めるところも増えている。まちづくりは、空き店舗政策でもある。持ちこたえられるのも限界である。行政が入って話し合いを進め、大きなデベロッパーが入り、大きな外科的手術をするなど、行政が主導や支援をしていくことが必要なのではないかと思う。
- ・商店街の再開発を進めることも重要である。
- ・市、サポート委員、区長会幹事会としても合併や連合制、合同での行事の実施などの実現に辛抱強く、長期的に取り組んでいきたい。また、区長の任期を複数年にしていくことについても、サポート委員として支援していきたいと考えている。

テーマ：町内会・区からの脱会防止対策について

【Dグループ】（参加区：6・22・23・29・30・32・36・39・43）

1 各区で取り組むと良いこと

- ・高齢化で役ができないという状況がある。
- ・私の区では、連合班にして対応する予定である。
- ・昔から住んでいる地元出身の人たちは、区や町内会に理解があるが、団地に住む若い世代の人は、「なんだそれ？」というような意識の人が多。そこで、回覧に写真を入れて、区や町内会の活動の様子が分かりやすいようにしたら、若い人にもお年寄りにも評判が良かった。
- ・入居した人に、区・町内会への加入パンフレットを持って行くようにしている。一緒に、年4回発行している区の広報も渡すようにしている。区の広報は、編集委員の協力のもと、地域の団体の紹介や行事の紹介、クイズなどを載せ、発行している。興味を持ってもらえれば、町内会にも入ってくれるのではないかと期待して行っている。
- ・退会者からは、必要経費のみいただくようにしている。
- ・小さい町内を大きいところに吸収させるのは、昔からのコミュニティがあるから難しい。連合制はよいと思う。
- ・500～600世帯くらいの規模だと、広報の発行はできないように思う。継続できるかもわからない。
- ・私の区でも、最初はできて、できる人が役を降りたりすると、やれなくなるかもしれない。自分はあるが、次の区長ができないかもしれない。若い人が区長や役員になってくれると、インターネットなどに理解があるので良いと思う。ホームページを作成したいが、お金もかかる。市から補助金が出ると助かる。
- ・行事の案内を作成している。自治会の本来の目的は、有事の際の備えだと思うので、防災通信を発行している。
- ・町内会加入パンフレットをくらし人権課（区長会）で作成しているということを知らなかった。

2 区長会として取り組んでいくと良いこと

- ・この意見交換会は有意義だと思う。
- ・ざっくばらんに話せるような会だとさらに良い。

3 市へ提案すること

- ・私の区は、全世帯の半分が公営住宅で、高齢化が進んでいる。若い人もいるが、高齢化が進み、住んでいる人も減り、空き部屋が増えてきた。役員が事実上名

前だけになっている。ばらばらに住んでいる人を、どこかに集めるような政策があると良い。

- 私の区にも公営住宅がある。長年住んでいるところを離れるのは、難しいところもあるかと思う。
- 脱会を希望する人が町内会長と話ができず、届け出が出せなかった。その脱会希望者がくらし人権課に相談し、くらし人権課から区長に連絡があった。この脱会希望者が話を聞かない人で、くらし人権課から押し付けられた気分になった。「区長でやってください」ではなくて、ある程度くらし人権課で対処してほしい。脱会の前段階で市で対処できないか。
- 市や県、警察などの行政の対応が良くないので、次に区長をやるかと言われたらやらないと思う。
- 側溝のふたについて市に要望したら、すぐやってくれた。
- 適切な担当課、担当者にたどりつくまでが大変。要望をくらし人権課が取りまとめるのは良いと思う。
- 要望は、市議や県議に仲介してもらい、声を届けたらどうか。
- 市議と話す機会がなかなかない。政治的なからみを考え、頼らないで自分でやろうと思っている。
- 市役所は、市議に言われたからやるというものではないし、市議は、もっと広い仕事をすべきだと思う。
- 市長への提言ではなく、もう少しラフなぐちを書けるようなものがあると良い。
- 役が回ってくるから退会するというのは、ある程度やむを得ない。「役員できます。行事も出ます。」「役員できません。行事は出ます。」「何もやりません。」と、段階化していくと良いのではないか。町内会員を費用負担で分け、役員にはお金を払うと良い。こうしていかないと、現実的に無理である。役員を雇うようにしていく方が現実的である。

テーマ：町内会・区からの脱会防止対策について

【Eグループ】（参加区：10・12・18・26・31・38・40・45・48）

1 各区で取り組むと良いこと

- ・日頃の人間関係が大事である。引っ越してみえたら、町内会長等がすぐ挨拶に行き、断りにくい関係をつくることも重要である。
- ・行事に参加できなかつたり、役ができなかつたりする若い人たちにも役ができる仕組みをつくと良いのではないか。
- ・区の規約を見直すと良い。

2 区長会として取り組んでいくと良いこと

- ・区長を複数年とすることを依頼する。

3 市へ提案すること

- ・「役」の仕事内容がわからない。本当に必要な「役」なのかどうか。市も各役員を選出してと言われるが、本当にその「役」が必要なのか、それだけの人数が必要なのか精査してほしい。
- ・選出する「役」について自治会任せではなく、市役所も加わって運営・推進する仕組みをつくってほしい。
- ・ごみ回収（ごみ収集車）がパンク状態である。アパート・マンションで町内会に入らないところが増えている。何とかならないか行政にお願いしたい。

4 その他

- ・区・町内会未加入者のリサイクル（ごみ）ステーション当番について
- ・引っ越してきたら、すぐ挨拶に行くと、断りづらい印象になる。
- ・アパートやマンションは、住人ではなく、管理人にお願いしている。
- ・区長の複数年任期が提案されているが、実際は、30 前後の区が1年任期という状況である。
- ・私の区では、たぶん全員が町内会に加入している。アパートなどがいないから若い人が入って来ない地域だからかもしれないが。
- ・町内会費を払いたくないのではなく、「役がやれない、やりたくない」というケースが多い。
- ・「役がやれないから脱会します。」という流れがある。
- ・仕事をもつ若い人でも、熱心にやる人もいる。
- ・「役」が一番のネックになっている。全部選出する必要があるのだろうか。
- ・「役」の仕事内容が不明のものもあり、今年度、規約の改正を図っている。

テーマ：町内会・区からの脱会防止対策について

【Fグループ】（参加区：1・5・11・13・25・33・44・50）

1 各区で取り組むと良いこと

- ・町内会を脱会しない対策として、班長や町内の役員たちに労をねぎらう意味で、気持ちとして年に5000円程度の謝礼金を会費の中から渡している。
- ・子どもも参加する祭りなどは子どもの少ない区もあるので、合同で開催するなどしている。
- ・新区長が困らないよう、前年度の区長は顧問を引き受けることにしている。また定期的に区長経験者のOB会を開いて課題などの話し合いの場を設けている。
- ・役員の出方法が毎年、難航している。高齢者は協力したい気持ちはあるが、なかなか役を引き受ける自信がない。皆さんの区は何か工夫をしているか聞きたい。
→ 今は、どの年代においても役に付きたくないの、規約をつくり書面で残しておいてはどうか。

2 区長会として取り組んでいくと良いと思うこと

- ・校区ごとの連合制にしていけば区長の負担も軽減され、複数年にわたり区長になることにも抵抗がなくなるのではないかな。
- ・養正地区は1～6区までだが定期的に区長が集まって会合を開いている。そこに他の地域の方（例えばサポート委員）も参加して意見をもらうのも良いかもしれない。
- ・連合制は地区によっては良い方法だと思う。特に世帯の少ない養正、昭和、精華は助かるのではないかな。

3 市へ提案したら良いと思うこと

- ・連合制にしていくにしても、だれが始めるかが問題。市からある程度、提案してほしい。

4 その他

- ・議会からも、連合制を提案してほしい。
- ・新区長は前年度からの引継ぎがなく、苦勞している。
- ・役員を輪番制にすると町内同士の仲が悪くなる。
- ・区長選出方法は立候補から始めている。
- ・区長は選挙で選出している。自分の経験からも複数年、務めるとよいと思う。